

## ( 2 ) 快適に移動できる交通基盤の推進

### 35 道 路

県道や都市計画道路、生活道路などの整備を計画的に進めるとともに、誰もが歩きやすい、人にやさしい道路環境の維持・改善に努めます。

### 36 生活交通

乗合バス路線の維持・確保や利用促進を図るための啓発に努めていくとともに、今後のバス路線の廃止を勘案し、効率的かつ効果的な生活交通のあり方について検討していきます。

大磯駅のエレベーター設置などのバリアフリー化を推進するとともに、鉄道輸送力の増強などについて、事業者に対し要請していきます。



## ( 3 ) 活力と個性あふれる産業の振興

### 37 農 業

効率的で生産性の高いほ場整備のための農業生産基盤整備や、経営規模の拡大、農用地の効率的な利用、各種農業団体への支援などを推進し、農業効率を高めるための環境づくりに努めます。

遊休農地や荒廃農地を活用した体験型農園の開設や、直売機能の充実など農業振興に対する取り組みを進めます。



### 38 漁 業

栽培漁業や漁場環境の整備を推進し、「とる漁業」から「つくり育てる漁業」へと転換を図り、長期的な視点から水産資源の確保や培養に努めます。

大磯港を漁業拠点やふれあいの場として位置づけ、多面的な役割や機能を引き出していきます。

### 39 商工業

事業者が積極的に観光イベントなどに参加できる組織づくりを推進し、商業活動の充実を図るとともに、地元の食材などを利用した土産物などの開発支援やPR活動を促進します。

経営の安定と活力を維持できるような支援方策を進めるとともに、今後成長が期待される業種・業態の企業誘致などを検討します。

### 40 労 働

雇用の安定と拡大を図るため、労働環境や労働条件の改善を促進するとともに、男女における雇用機会の均等や中高年齢者、障害者などの雇用の促進に努めます。

## ( 4 ) 資源を活かした特色ある観光の推進

### 41 観 光

町民や事業者などと行政が強力な連携や適切な役割分担を持ち、交流やふれあい、手づくり感のある通年型観光地づくりを推進します。

自然や歴史と各種産業を融合させた体験型イベントや観光施設の整備、特産品の販売など、来訪者が快適に観光できるような環境整備を推進します。

観光振興の発展に資するため、観光協会をはじめとする関連団体の活動を助長するとともに、観光に携わる人材の育成や発掘に努めます。

